

雇用と就労・自立支援カンパ金の助成団体推薦!

3月から連合群馬と地協が中心となり、街宣行動や駅頭、フェスティバルを活用したカンパ活動を県民へ展開するとともに、各産別は組織内で取り組みを進めてきました。

皆さんの善意で集まったカンパ金の使途は、連合群馬執行委員会において推薦先を決定し、連合本部へ申請を行い、7月1日の審査会で助成先に選ばれました。

これまで集められた善意をムダにしないためにも、両事業を通じて1人でも多くの方を支援していきます。ご協力ありがとうございました。



【実施事業の概要】

実施事業	若者就職支援	ライフサポート
推薦先	北関東産官学研究会 (ジョブカフェ東毛サテライト)	連合群馬
代表者	根津 紀久雄氏	大橋 豊氏
取組内容	◎ジョブカフェ運営を通じて、次代を担う若者の就職面接会やシンポジウムの実施に向けた支援を行います。 ◎在学中に働くことの意義を学ぶ学習会などを実施し、就労観や職業観を高める支援を行います。	◎うつ病などで長期休職や退職を余儀なくされることがあります。そのため、相談窓口を設置し支援を行います。 ◎労働相談にも対応し、キャリアカウンセリングなどや、個々人の自立に向けた支援を行います。

青年委員会 ソフトバレーボール&ドッチビー大会開催

6月13日、群馬県勤労福祉センター体育館において、ソフトバレーボール&ドッチビー大会を開催し、11産別85名が参加しました。同年代の仲間づくりを目的として開催し、楽しみながらプレーをする中で、珍プレー好プレーも続出し、日頃の苦労も吹き飛ばすさわやかな汗を流しました。

一つの目標にみんなで取り組む姿勢は、仕事に通じる部分もあり、同時に仲間の大切さについて学ぶことができました。産別に偏らないチーム編成により、多くの仲間との会話を通じ、産別の枠を超えた楽しいひと時を過ごしました。



やったねっ! ドッチビー優勝おめでとう



ジャンプいちば〜ん! (ソフトバレー)

2009平和沖縄派遣団

6月23~25日、加藤副会長を団長とした6産別1地協15名の平和沖縄派遣団は、「平和行動in沖縄」へ参加しました。

1日目は、「2009平和オキナワ集会」が那覇市民会館で開催され、古賀事務局長から「米軍基地の整理・縮小と地位協定の抜本的見直しに向けて粘り強く活動を押し進めなくてはならない。(平和行動の参加者へ向けて)沖縄戦の実相を学びとり、家庭や職場、地域における「平和の語り部」となっていきたい。」と挨拶がありました。

集会では、児童・生徒による平和メッセージや朗読劇、歌で綴る沖縄の戦中戦後と題した三線・太鼓による歌と演奏、連合広島へのピースフラッグのリレーならびに平和アピールの採択が行われました。



集まった折り鶴を献納

2日目は、群馬独自の戦跡めぐりによる、①戦時中野戦病院として使用されていたアブチラガマ、②ひめゆりの塔、③平和祈念公園群馬の塔、組合員の皆さんから集まった3万羽の折り鶴の献納、④平和祈念資料館での学習など、沖縄戦の悲惨な状況を学び、世界の恒久平和への意識を高めました。

今回の経験を職場や家庭で語り継ぎ、平和の輪を広げる取り組みにつなげていきます。



群馬県出身の戦没者が祀られた群馬の塔前